



2026 年 3 月 5 日 (木) 第 11 回例会

【対面式 ZOOM ハイブリッド例会】

会 長 時 間



ロータリーの本質は自己教育運動です。みなさんこんばんは。

3 月は国際ロータリーが定める「水と衛生月間」です。RI は 2030 年までにすべての人に安全な水と衛生設備、衛生環境を提供するという目標を掲げ、加盟クラブに協力を呼びかけています。日本ではどこか遠い国の話だと思われがちですが、実はニーズは身近なところにも存在しています。

たとえば、今回、国際大会が開催される台湾にもニーズがあります。台湾といえば今や IT 産業の中心地ですから、そのような問題とは無縁だと思われるかもしれませんが、地域によって開発の程度は大きく異なります。たとえば、台湾東部の肝がん地代では、湧き水を水源にしています。この地域は台風などによって貯水タンクが破壊される度に水が止まっていました。広島北ロータリークラブは創立 50 周年の記念事業として、広島陵北ロータリークラブや台湾の 2 クラブと協同で現地調査を行い、ロータリー財団の補助金を利用して抜本的な取水システムを設置するプロジェクトを進めました。

また、タイのチェンライロータリークラブの原田パスト会長が積極的に進められているタイの少数民族アカ族の支援の一環で、当クラブのチャーターナイトにご出席いただき、祝辞をいただいた、国際ロータリー第 2580 地区の嶋村パストガバナーが所属する東京東江戸川ロータリークラブは、やはりロータリー財団の補助金を利用して浄水器を寄贈しています。また、東日本大震災で被災した福島県南相馬市にある原町中央ロータリークラブは、アカ族のためにトイレを設置されました。

水と衛生といいますと、私たちはどうしても、水のほう、すなわち、いかにきれいな水を供給するかという方に目が向いてしまいがちですが、実はもうひとつ大切なのは衛生です。たとえば、トイレの設置は衛生環境の改善につながります。

ご存じのように、ロータリーが初めて行った奉仕活動は、シカゴ市への公衆トイレ寄贈でした。ロータリーとトイレには縁があるわけです。当時は公衆トイレはなく、町ゆく人は、用を足したくなったらデパートに駆け込むしかなかったのですが、公衆トイレのおかげでそうしなくてもよくなりました。ただ、裏話ですが、客足が遠のいたとデパートから苦情が寄せられたそうです。

タイのアカ族のために設置した公衆トイレは、多いときで 50 人が並ぶといます。僕は、2 年前のシンガポール国際大会で、ロータリーで積極的にトイレ設置プロジェクトを進めている、「世界トイレ機構」の創設者、ジャック・シム氏の話聞いて、世界ではトイレが全然足りていないことを知り、衛生環境の改善がとても大事なことだと認識しました。皆さんも、水だけでなく、是非、衛生にも関心を寄せていただきますようお願いいたします。

また、海外が実施国となるプロジェクトの多くは、現地のロータリアンとの個人的なつながりが元になっています。海外でメイクアップをされたとき、国際大会に参加されたとき、知り合いを増やす機会はた

くさんあります。是非、海外に視線を向けて、知り合いを増やし、ニーズがあるという情報を当クラブにお持ち帰りください。

さて、以前お伝えしたように、3月13日を含む1週間は、ロータリーが定める4つの「特別週間」のひとつで「世界ローターアクト週間」です。

ローターアクトクラブは、地元や海外での奉仕活動に関心がある18歳以上を対象にロータリークラブが提唱する奉仕クラブで、地域社会のリーダーと意見交換をしたり、リーダーシップと専門的なスキルを育んだりしながら、奉仕活動を行います。以前は30歳までという年齢制限がありましたが、2019年に年齢制限が撤廃され、さらに、RIの加盟クラブとなり、ローターアクターにはロータリアンと同等の権利が与えられています。

これとは別に、それよりも若い12歳から18歳までを対象に、ロータリークラブが支援して国際的な奉仕活動を行うインターアクトクラブがあります。対象の年齢からわかるように、これは地域の中高等学校のクラブ活動として、その地域のロータリークラブが支援して設立され活動しています。インターアクトクラブはRIの会員ではありません。

ローターアクトクラブは2019年にRIの会員になりましたが、これは、ローターアクトクラブの会員とロータリアンは同じステータスであるということです。平等の精神が重視されるロータリーにおいて、会費も異なる両者を同じように扱っていいのかという疑問の声もありますが、ローターアクターとロータリアンは同じステータスであるという事実は認識しておいていただければと思います。

この、ローターアクトクラブのRI加盟によって、それまで約120万人とされていた世界のロータリアン数は、ローターアクターの20万人が加わって、現在は140万人とされていることは、地区大会などの報告でご存じかと思います。会長卓話でお伝えしたように、これはRIが積極的に奉仕を進めるための会員増強の一環だと解釈してもいいかと思います。

このような近年活発化しているRIの会員増強の動きは、それを悪く言う方もいらっしゃいますが、なぜ会員増強しなければならないのか、まずはこのところをしっかりとご理解いただきたいと思います。その理由は、世界で有益な奉仕活動を実施するには、資金が必要で、資金を集めるためには、会員増強が必要だからです。会員増強は、私たち個人あるいはクラブレベルではどうも達成できない大規模なプロジェクトの基盤となるわけです。是非、できる限りの協力をしていきたいものです。

以上で今日の会長時間を終わります。

例 会 次 第

- ・開会点鐘
- ・ロータリーソングの唱和 「奉仕の理想」
- ・来訪ロータリアン及び来客の紹介
 - 土肥慎二郎ガバナー
 - 湯澤俊樹ガバナー補佐
 - 小林通匡 IM 実行委員長
- ・会長時間
- ・幹事報告
- ・出席報告
- ・委員会報告
- ・同好会報告

- ・例会プログラム
「会長卓話：ロータリーの基礎知識①」
- ・閉会点鐘

幹事報告

- ・次年度各委員会の委員長は3/19（第3木曜日）までに次年度の事業計画案を次年度幹事の伊藤さんまでにメールで届けてください。3か年計画との修正、整合性を確認しますので日時の厳守お願いします。
- ・4月25日（土）呉阪急ホテルで開催されるインターシティミーティングの出欠連絡ありがとうございました。楽しんで帰りましょう
- ・5月に開催される台湾での国際大会についてです。当クラブからは、伊藤副会長、伊藤史保子さん、福本幹事、渡辺さんが参加されます。伊藤夫妻は日本人朝食会に、福本幹事はガバナーナイトと日本人朝食会に参加します。
- ・ロータリーの友3月号が届いていますのでまだ手元にない方はお持ち帰りください。
- ・次回3/19（木）通算12回例会はここ「おりづるタワー」にて18：00より開催し、続いて懇親会を開催しますのでよろしく願いいたします。

出席報告

本日の例会 参加会員数： 21名中18名（うちオンライン参加者2名）【MU含まない出席率86%】
来賓・来客： 3名（うちオンライン参加者0名）

委員会報告

なし

同好会報告



・五紅会： 3/5（木）にフォレストヒルズゴルフ&リゾートにて、第1回目のコンペを開催しました。優勝は平本さんでした。おめでとうございます！

スマイルBOX

- ・土肥ガバナー 10,000円
- ・湯澤ガバナー補佐、小林IM実行委員長 6,000円
- ・楨下さん 1,000円。（前回例会は欠席して福岡エアポートRCでメイクアップするつもりでしたが休会でした。残念！）

- ・伊藤（弘）さん 1,000 円。（第一回の互紅会に参加しました。とても楽しい一日になりました。一緒に廻った北田さん、平本さん、お陰で 100 を切る事が出来ました。出宝させていただきます。）
- ・諏訪さん 1,000 円。（ゴルフ壮行会「五紅会」の初例会に参加しました。会の発展を祈ります。）
- ・谷口さん 1,000 円。（今日の五紅会の例会で入賞しましたので、スマイルボックスに出宝させていただきます。）
- ・山本（博）さん 1,000 円。（徽章を忘れてしまいました。）

皆さんありがとうございました！

プログラム

「会長卓話：ロータリーの基礎知識①」

皆さんこんばんは。創立年度に入会された皆さんのほとんどがロータリーの初心者ですから、創立年度の今年是对外的奉仕活動をせず、ロータリーについての理解を深めていただくための卓話をしてきました。今日と次回の 2 回はお時間をいただいて、「ロータリーの基礎知識」と題して、大切なことをお伝えしたいと思います。

今日お話しすることは、以下の 3 つです。まず、「クラブ奉仕」について。2 つめに例会出席について。そして 3 つめにロータリーの「親睦」についてです。

現在は、RI の進める世界的で大規模な対外的奉仕活動が非常にプレゼンスを増し、ロータリー全体がそれに飲み込まれていて、ロータリーがまるで単なる奉仕団体であるかのような誤解が生じています。対外的奉仕はとても重要ですが、ロータリーの本質は、よい人になろうという志を持つロータリアンが自己教育を行い、また仲間同士が切磋琢磨し、よりよい人間、より良い職業人、より良い奉仕人になろうとすることです。そして、その主要な場となるのが例会です。ロータリーの例会出席は出席規定を満たせばいいのですが、例会出席はロータリアンの義務であると言われるのは、それだけ例会出席が大切だからです。この例会、その運営など、ロータリアンの成長の基盤となるのが、今日一つ目にお話しする「クラブ奉仕」です。

「クラブ奉仕」は、ロータリーが定める「五大奉仕」の一つ目として、「奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。」規定されています。余談ですが、ロータリーの文献はすべて英語で、私たちはそれが和訳されたものを目に見ていますが、この和訳は決して優秀だとは言えないと私は思っています。非常にわかりづらく、時に誤解さえ生じさせます。この「クラブ奉仕」の和訳も、よく読むと非常にわかりづらいですね。

そこで、1932 年の手続要覧、これも英語の文献ですが、ここに規定されている「クラブ奉仕」に関する記述を抜粋して和訳してみます。そこには、「良い人間、良い職業人、良い奉仕人になるための自己研鑽は各ロータリアンの義務であり、会員の自己研鑽を支援するのはクラブの義務である」と述べられています。大変大雑把な捉え方ですが、こういうロータリーの本質的なものを担うのが「クラブ奉仕」です。

RID2800（山形）の鈴木一作パストガバナーは以前から「クラブ奉仕」の大切さを訴えていらっしゃいますが、彼の作られた資料をご覧ください。これら 2 つの資料は、まさに 1932 年の手続要覧の記述を反映しています。皆さん、大事なことは、ロータリーは時代と主に変化していますが、このロータリー思想は、発生当初から何も変わっていないのです。それがまるで消失したかのようなことをおっしゃる方もいらっしゃいますが、大きな誤りです。

クラブ会員の務め

例会出席、自分磨き
仲間磨き、クラブ磨き

寛容
(toleration)

親睦

高潔、倫理、成長

奉仕(心配り)

他の会員やクラブへの貢献
仲間を増やす(会員増強)

学び

クラブ会員の誰もが、
素晴らしい真のロータリアンになる

クラブリーダーの務め

- ◎ 例会に来てよかった!
- ◎ 奉仕プロジェクトに参加してよかった!
- ◎ 一体感と居心地の良さ

クラブの文化
Grow Rotarians & Enjoy Rotary

ロータリアンであることの
魅力、価値、喜び、誇り
クラブに対する
満足感、貢献意欲、帰属意識



皆さんの務めは、まず例会に出席し、自己教育を行って自分磨きをすることです。そして、仲間（他の会員）と切磋琢磨を行って、お互いの成長を図ることです。その先にクラブ自体の成長が達成されます。

そして、会長や理事など、クラブリーダーの務めは、皆さんが例会に来てよかったと思われるような、そして、皆さんの成長が実現できるようなクラブ運営を行うことです。クラブは皆さんを育てる機能を持っているわけです。これをロータリーの「教育的性格」といいます。

これはほかの奉仕団体にはないロータリーの特徴です。1916年に発行された「ロータリー通解」には、「ロータリーに入会した者は、ロータリーの原則と慣例に基づく教育を受け、その教育成果を『個人の向上の分野』および『他人のための活動の分野』の両方で示すことが強く期待されている。」と記載されています。

「ロータリー通解」(A Talking Knowledge of Rotary)は、Guy Gundaker(和訳では「ガイ・ガンディカー」と訳されることが多いですが、私は「ガイ・ガンデイカー」がより近いと思います。)ロータリー誌「The Rotarian」に寄稿した記事を元に編集されたもので、ロータリーの奉仕概念、ロータリアンの義務、ロータリークラブの責務などについて体系的に書かれた史上初のロータリーの教科書です。

日本では1923年に関東大震災が発生し、RIや世界中のロータリークラブから多額の寄付金が寄せられました。当時は東京RC(1920年)と大阪RC(1922年)の2つしかなかったような時代で、ロータリー運動もあまり活発ではなかったのですが、この寄付金でロータリー普及に弾みがつきました。そしてこのとき以来、日本のロータリアンがロータリーを学ぶときに使われたのが「ロータリー通解」です。

先ほどもいいましたように、ロータリーの思想は当時から何も変わっていませんから、「ロータリー通解」は今でも非常に重要なロータリーの教科書です。購入できます。

さて、話を元に戻します。ロータリークラブの「教育的性格」がなぜ大切なのかが、「ロータリー通解」には次のように書かれています。

「素晴らしい真のロータリアンが増えれば、彼らの活躍(奉仕)によって世の中は良くなる。」

「人間性の向上というロータリーでの成長によって、日常のあらゆる場面や状況で奉仕するロータリアンを育てること。すなわち、「人作り」こそがロータリーの使命である。」

大変意義深い言葉だと思います。

さて、次に、「例会出席」についてお話しします。これについては、「ロータリー通解」の記述をご覧ください。

例会出席について

「ロータリー運動におけるクラブの価値は、ロータリアンの積極的な例会出席にかかっている」(Guy Gundaker)

「例会出席(主要な自己研鑽の場)は『素晴らしい真のロータリアン』になるための必要条件であるから、ロータリーの全ての例会へ出席する義務を負う」と考えてもよい。

会員の自己研鑽につながる、親睦と学びに資する例会運営が大前提。

(中略)

最後に、ロータリーの「親睦」についてお話しします。親睦と訳された元の英語は fellowship です。この真の意味を理解することが大切です。

いわゆる「交友」には3段階があると言われています。最初の段階は市営愛になること。次の段階が friendship で、友情、仲良くして一緒に楽しむことです。そして最終段階がこの fellowship で、これは同じ志を持つ仲間であることで、これこそがロータリーの親睦です。

よく、ロータリーは親睦がすべてだという言葉が聞きますが、この言葉の「親睦」は、得てして第2段階の friendship、つまり、単に一緒に楽しむことを意味していることが多いように思います。そして、この言葉は大きな誤解です。

ロータリーの「親睦」

「親睦」 = Fellowship (Friendshipではない)

Fellowship: **目的(志)を共有**する仲間 協力

Friendship: 友情 友好 親交

【交友の3段階】

1. Acquaintance(知り合い程度)
2. Friendship(友情)
3. Fellowship(志の共有)

ロータリーの親睦は**ロータリーの志を共にする者同士の仲間意識**

「ロータリー通解」では、「しばしば、ロータリーで親睦を図ることが、ロータリー運動の全てであるように誤解される。また、ゆらぎない親睦こそ、ロータリーが存続する絶対的条件だと考えているクラブも

ある。しかし、これらの二つの立場からの判断には、明らかに批判の余地がある。親睦はロータリー運動そのものではなく、ロータリーという植物が根をはり、成長するためにどうしても必要な、最上の土壌に過ぎないのである。」と記述されています。

では、私たちロータリアンはどうすれば仲間同士でこの親睦を深めることができるのでしょうか。ガイ・ガンディカーは、ロータリーの親睦を生むヒントとして、「会員間の思いやり」「他人に対する礼儀正しさ」「成熟したロータリアンにふさわしい紳士の振舞と思慮深さ」をあげています。男女平等の現在、この言葉は不適切かも知れませんが、紳士的な礼儀をわきまえた言動、これを目指すことが、その本人のためにもなり、また、仲間のためにもなるのではないのでしょうか。

鈴木一作パストガバナーは、「他人の悪口や陰口を言わない」ことが大切だと述べられています。「意見を言うのは結構ですが、他人の悪口や陰口を言っては駄目です。そういう人は、ロータリーでは例外なく嫌われ、やがては軽蔑されていくからです。例えば、それが社会的に地位や役職の高い人だったら、周囲には「面従腹背(表面だけは服従するように見せかけて、内心では反対すること)」の者しかいなくなります。しかも、それがロータリアンだったら、ロータリーの「親睦」を台無しにする人物と言ってもよいでしょう。周囲から信頼され、尊敬される“素晴らしい真のロータリアン”になれるはずがありません。)

以上、今日は、「クラブ奉仕」、「例会出席」、そしてロータリーの「親睦」、以上3つのことについてお話ししました。次回は、このようなロータリーの本質を自分の成長の基礎とし、それを伝承していけるようなクラブ運営の方法についてお話しします。